

大分スポーツ公園及び高尾山自然公園 将来ビジョンについて

施設の今後のあり方

**存続
(利活用)**

- ①スポーツやイベント等を体験・共感・感動し、自然と調和しながら県民に愛される公園を目指す。
- ②大分スポーツ公園は、「スポーツ文化の創造」を図るための中核的施設であり、競技力向上にも資する国内有数の総合競技場で、全国・国際大会が開催できる施設であるとともに、大規模災害時における広域防災拠点である。
- ③高尾山自然公園は、「憩いの場」として都市近郊にある大規模自然公園であり、森林環境を保護・保全しながら、多くの県民が自然に親しんでおり、「日本の都市公園100選」にも選ばれている。

目指すべき
施設像

- ①全国的・国際的なスポーツ大会の開催や、規模を活かした、競技力向上に資する施設【スポ公】
- ②憩いの場であるとともに、自然に関する体験学習も行うことができる自然公園【高尾山】
- ③大規模災害時に現地調整機能や救援物資の集積・輸送機能を有する施設【スポ公】

目指すべき
利用者像

- ①全国大会の参加者など、競技力向上を図るアスリートや健康づくり・体力増進を図るあらゆる年代層【スポ公】
- ②ウォーキングや展望台からの眺望を楽しむ近隣住民や自然に関する学習会に参加する方【高尾山】

定量的目標
達成指標

- ①年間利用者数の増 (過去3年平均： 853,993人/年)
1,200,000人/年 (参考H30実績：1,199,995人/年)
- ②利用者満足度の維持 (過去3年平均：83.8%)
85%

定性的目標
達成指標

- ①全国的・国際的スポーツ大会を開催するため、誘致活動の実施や施設・設備を適正に管理する。【スポ公】
- ②誰もが安全に、安心して利用できる施設とするため、施設の改善やサービス向上の取組を実施する。【スポ公・高尾山】

主な課題と解決策

【課題】

- ①人口減少・少子高齢化が進む中、単発的な大会利用などでは、利用者の減少が懸念される。
- ②広大な敷地と多種多様な施設を有しており、老朽化もあり管理に手間とコストを要する。また、一部の施設ではバリアフリー化が完了していない。

【解決策】

- ① 全国、国際スポーツ大会の誘致に引続き取り組み、利用団体に対してアンケートによるニーズ調査や次年度の利用案内、仮申込書の送付を行うなど、継続利用を促進する。【スポ公】
・ 体育大会やクラスマッチなど、学校行事の開催を推進する。【スポ公】
・ 近隣の学校や福祉施設などへの施設情報マップ配布や、SNSでの情報発信により、利用を促進する。【スポ公・高尾山】
- ② 長寿命化計画に基づき、適時に施設の更新・修繕を行う。【スポ公・高尾山】
・ 専門業者に意見を聞きながらの適正な芝の管理、総合競技場周辺の舗装更新、投てき場、多目的広場周辺のベンチ更新などを実施する。【スポ公】
・ 散策路（柵、階段、舗装等）の更新や、多目的トイレを設置する。【高尾山】